

令和3年度 第1回坂井市地域公共交通会議

日 時：令和3年8月6日（金）14：00～15：00

場 所：坂井市役所 災害対策本部室

出席者 浅沼会長

住民代表：坂野委員、渡辺委員、小林委員、正藤委員、内藤委員

関係機関：下平委員、堤委員（代理：廣瀬氏）、山室委員、鈴木委員、  
若栗委員、吉川委員、本村委員、関委員、島田委員

事業者：佐々木委員、長谷川委員、矢部委員、吉田委員

関係部署：千秋委員、八杉委員、林委員、中田委員 計23名

欠席者 住民代表：阿津川委員、野村委員、古川委員

事務局 総合政策部 西部長 公共交通対策課 長谷川課長、渡邊主査、竜田

### 1. 開会

事務局の変更報告及び委員紹介

委員出席状況・会議成立を報告

### 2. 会長あいさつ

浅沼会長より挨拶

### 3. 報告事項

(1) コミュニティバスの運行実績について

(2) 坂井市交通分析シートについて

<事務局> 資料1・2に沿って説明

<会 長>

説明した件について、質問はありませんか。

<内藤委員>

質問と言いますか一点申し上げておきたいのですが、休校による利用者減少という説明に関して、高校としては令和2年の3月から休校措置を取っておりましたので、3年の3月に前年度利用者が増えたのはその影響もあるのかと思います。

<事務局>

おっしゃるとおり、休校の影響は前年度の令和2年3月より出ておりますので、基幹ルートにおける令和3年3月の利用者増については前の年度に

休校であった事が関係しております。

<会 長>

確かに、休校の影響は前年度から出ているという感じですね。それでも平成30年度、令和元年度、令和2年度の3月を見比べるとコロナであってもそれなりの利用はあるなという印象です。路線バスとかもそんなものなんでしょうかね。回復傾向が見えつつあるんでしょうか。

<事務局>

このあと、えちぜん鉄道さんの利用状況の説明もしていただけるのでその状況も参考にさせていただければと思います。

<会 長>

あと気になるのが、資料2の分析シートの方で利用者がここ数年0人となっていますね。今後の取組が記載されてはいますが、利用者がいないというのはどうなのかなと思ひまして。

<事務局>

ゼロというのは、海岸線のことだと思いますが、この利用者数の数字の出し方というのが、年1回行うOD調査の際の乗車人数に運行日数を掛けているのですが、この海岸線の利用者は全くいないというのではなく、別系統の海岸線の方に計上されているという現状があります。ただ、利用者が少ないことは間違いないので、今後ニーズを踏まえた対応を京福バスさんとも協議して促進案を検討しないといけないものだと思います。

<会 長>

表示上、ゼロと記載されているのは間違いないので、記載上の注意と申しますか、そういうことも考えてはどうでしょうか。

<事務局>

ありがとうございます。次回は、表記方法について検討し反映させたいと思います。

### (3) オンデマンド型交通実証実験の中間報告について

<事務局> 資料3に沿って説明

<会 長>

説明した件について、質問はありませんか。

<小林委員>

磯部の方で利用者が多いとのことでしたが、行き先の多いものを教えてください。

<事務局>

行き先はほぼ医療機関です。多いのは医科大ですね。そのほかですと丸岡町内の各医療機関に放射線状に広がっている感じです。

<小林委員>

医科大は多いでしょうね。たくさんの方が行っていると思います。そのほかは具体的にどうですか。

<事務局>

現時点のトップ5ですが、一番多いのが中瀬整形外科、次に医科大、磯部コミセン、キムクリニック、5番目が福岡内科クリニックです。医科大が突出しているというわけではなく、丸岡町内の医療機関に幅広く利用されている感じです。

<小林委員>

春江の方はどんな感じか。

<事務局>

フルハシ歯科、豊田内科、春江支所からアミへ買い物などがありますが、春江はまだ母数が少ないもので。今後利用促進を図って利用者を増やし、またこの場でご報告したいと思います。

<会長>

乗られるのは相乗りが多いですか。

<事務局>

予約段階で家族や友達と乗車するという予約で数人乗車することはありますが、運行する途中で、知らない方が途中で乗車するという相乗りは現時点ではみられません。

<会長>

車両には何か目印があるのですか？

<事務局>

側面に「坂井市オンデマンドタクシー」と表記したマグネットシートを貼って運行しています。

<堤委員（代理出席 廣瀬氏）>

二つの地区で、利用者数がかけ離れている要因は何かあるのでしょうか。

<事務局>

地区の人口にもよると思うのですが、春江東は約 5 千人、磯部は約 8 千人です。あと、説明会のスタートが遅かったことも要因だと思います。春江の方も 6 月よりは 7 月が増えております。今後も少しずつでも増加していくのではないかという見込みを持っています。

(4) えちぜん鉄道の運行実績について

<えちぜん鉄道(株)佐々木氏>資料4に沿って説明

<会 長>

説明した件について、質問はありませんか。

<会 長>

県立大学で学生アンケートを隔年で取っておりまして、通学方法なんかも質問にあるのですが、コロナの影響で運転免許を取得して通学することが増えているかもしれませんね。その結果は、機会があればお示しいと思います。

#### 4. 協議事項

(1) あわら温泉観光デマンドタクシー実証実験運行について

<ケイカン交通>資料5に沿って説明

<会 長>

説明した件について、質問、意見はありませんか。

<佐々木委員>

運行時間ですが、17時からとなっていますが、お客様のことを考えると

もう少し早くてもいいのではないのでしょうか。その方が利用は多くなるのでは。

<ケイカン交通>

その辺は、検討段階で意見があったと聞いております。利用料金が 500 円と安価であり、通常のタクシーの利用ニーズが高いのは朝出かけるときと夕方宿に戻るまでであると思います。その時間帯は、当然通常のタクシーとしてのニーズがあるわけですから普通の運賃での運行タクシーをご利用いただきたい。ただ、通常運行のタクシーのニーズが少ない時間帯、路線バスが走っていない時間帯ということで、17時から22時とそこに限って安い運賃で運行するという設定で行うものです。

<八杉委員>

補助の採択があつての事業とのことですが、補助申請にあつての利用人数はどれくらい見込んでいるのでしょうか。

<ケイカン交通 矢部氏>

利用者総数ではなく、相乗りタクシーですから相乗り率といいますか、1利用あたり3名利用を目標として設定しております。宿にお泊りのお客さまが対象ですからおひとりではなく、数名で利用していただきたいということです。

<会 長>

指定の乗降地ですが、今後うちの旅館も入れて欲しいという要望があれば増えていくということでしょうか。

<ケイカン交通>

事前に十分に周知のうえで募って、調整しておりますので今回示したお宿が増えることはないかなと思います。

<正藤委員>

例えば、芦原温泉から5人家族で夜の水族館まで利用するとき、通常のタクシーでは運賃はいくらくらいになるのですか？

<ケイカン交通>

出発地、ルートにもよりますが、あわら湯の町からだとしたら、3千円から3千5百円くらいでしょうか。

<正藤委員>

今回の運行では、5人で2千5百円ですから、やはり安いということですね。こどもでも500円ということですが乳幼児でも500円ですか？

<ケイカン交通>

今回の乗り合いタクシーの場合、未就学児は無料です。コミュニティバスでも路線バスなんかでも未就学児は無料という区分ですから、同じような取り扱いとなります。

<会 長>

この案件は、あわら市でも同じことを協議するんですね。

<ケイカン交通>

順番が逆になったと申しますか、交通会議が坂井市さんの方がスケジュール的に先になったもので。あわら市は8月中旬に交通会議を予定しており、そこでも同様の説明をいたします。

<会 長>

ということで、この案件は両方で協議が整わないといけないものです。ご意見はないですか。

<会 長>

承認いただける委員の方は挙手願います。

【挙手全員につき協議事項承認】

## 5. その他

案件なし

## 6. 閉会